TOSHIBA
Leading Innovation



形　名

VFE-140KFP2
VFE-170KFP2

東芝全熱交換ユニット

取扱説明書

- このたびは東芝空調換気扇をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございました。
- この商品を安全に正しく使っていただくために、お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みになり、十分に理解してください。
- お読みになったあとは、お使いになるかたがいつでも見られるところに必ず保管してください。
- 取付説明書を販売店または工事店から必ず受け取って、保存してください。

もくじ

安全上のご注意 ……1～2
各部のなまえ ……3
使いかた ……3
お手入れのしかた ……4～5
お手入れ後の組立 ……6
つぎのことは必ず守ってください ……6
仕様 ……6
修理を依頼される前に ……7
ご不明な点や修理に関するご相談は……7

日本国内専用品
Use only in Japan

安全上のご注意

●**商品および取扱説明書にはお使いになるかたやほかの人への危害と財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。次の内容（表示・図記号）をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。**

表示の説明

⚠警告 “取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷（＊1）を負うことが想定される内容”を示します。

⚠注意 “取り扱いを誤った場合、使用者が傷害（＊2）を負うことが想定されるか、または物的損害（＊3）の発生が想定される内容”を示します。

＊1:重傷とは、失明やけが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。
＊2:傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが、やけど、感電などをさします。
＊3:物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害をさします。

図記号の説明


禁止

⃠は、禁止（してはいけないこと）を示します。
具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示します。


指示

●は、指示する行為の強制（必ずすること）を示します。具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示します。

⚠警告


使用を中止する

異常・故障時にはすぐに使用を中止する
発煙・発火・感電の原因になります。
すぐに電源を切って、お買い上げの販売店または、東芝エアコン空調換気ご相談センターに点検・修理を依頼してください。
《異常・故障例》
●スイッチを入れても羽根が回転しない
●運転中に異常音や振動がする
●回転が遅い、または不規則
●こげ臭いにおいがする


分解・修理禁止

修理技術者以外の人は、分解、修理（※）をしない
火災・感電・けがの原因になります。
※修理はお買い上げの販売店または東芝エアコン空調換気ご相談センターにご連絡ください。


入り切り禁止

ガス漏れのときは、換気扇のスイッチを入れたり切ったりしない
ガス爆発の原因になります。


取付注意

電源コードはゆとりをもたせ、つっぱらないようにゆとりをもたせて配線する
火災・感電の原因になります。


改造禁止

改造はしない
火災・感電・けがの原因になります。


水かけ禁止

水や洗剤などをかけたり、吹きつけたりしない
感電の原因になります。


使用禁止

交流１００V以外では使用しない
火災や感電の原因になります。


電源を切る

お手入れのときは、分電盤のブレーカーを切る
また、ぬれた手で操作しない
感電やけがの原因になります。


取付注意

外気取入口は燃焼ガスの排気を吸い込まない位置にする
室内が酸欠状態となり、重大な事故の原因になります。


電源を遮断

異常時（こげ臭いなど）は、運転を停止して電源を遮断する
東芝エアコン空調換気ご相談センターにご相談ください。異常なまま運転を続けると、故障や感電・火災の原因になります。

⚠警告


アースを接続する

アースは確実に取り付ける
故障や漏電のときに感電する原因になります。アースの取り付けは販売店や電気工事店にご相談ください。


水ぬれ禁止

ぬれた手でスイッチに触れない
感電の原因になります。


破損禁止

電源コード、差込みプラグを破損するようなことはしない（傷ついたり、加工したり、熱器具に近づけたり、引っ張ったりしないこと）
いたんだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。コードやプラグの修理は販売店にご相談ください。


禁　止

電源コードを傷つけたり、加工したり、たばねたりしない
電線に荷重をかけない
火災・感電の原因になります。


使用禁止

電源コードが傷んだときは使用しない
火災・感電の原因になります。

⚠注意


電気工事士が実施

電気工事・アース工事は電気工事士（※）が行う
電気工事士以外の人が工事をすると火災・感電・けがの原因になります。
※電気工事士への依頼は、お買い上げの販売店または電気工事店にご相談ください。


接触禁止

パネルのすき間から、棒や針金を入れない
感電・けがの原因になります。


確実に取り付ける

強度のある場所に確実に取り付ける
落下により、けがをする原因になります。


プラグを抜く

長期間ご使用にならないときは、必ず分電盤のブレーカーを切る
絶縁劣化による火災・感電の原因になります。


炎禁止

炎があたる場所には取り付けない
火災の原因になります。


使用禁止

異常な振動がするときは、使わない
本体・部品の落下により、けがの原因になります。


取付注意

浴室など湿気の多いところでは使わない
漏電により火災・感電の原因になります。


手袋着用

お手入れのときは、ゴム手袋を着用する
手袋を着用しないと、けがの原因になります。

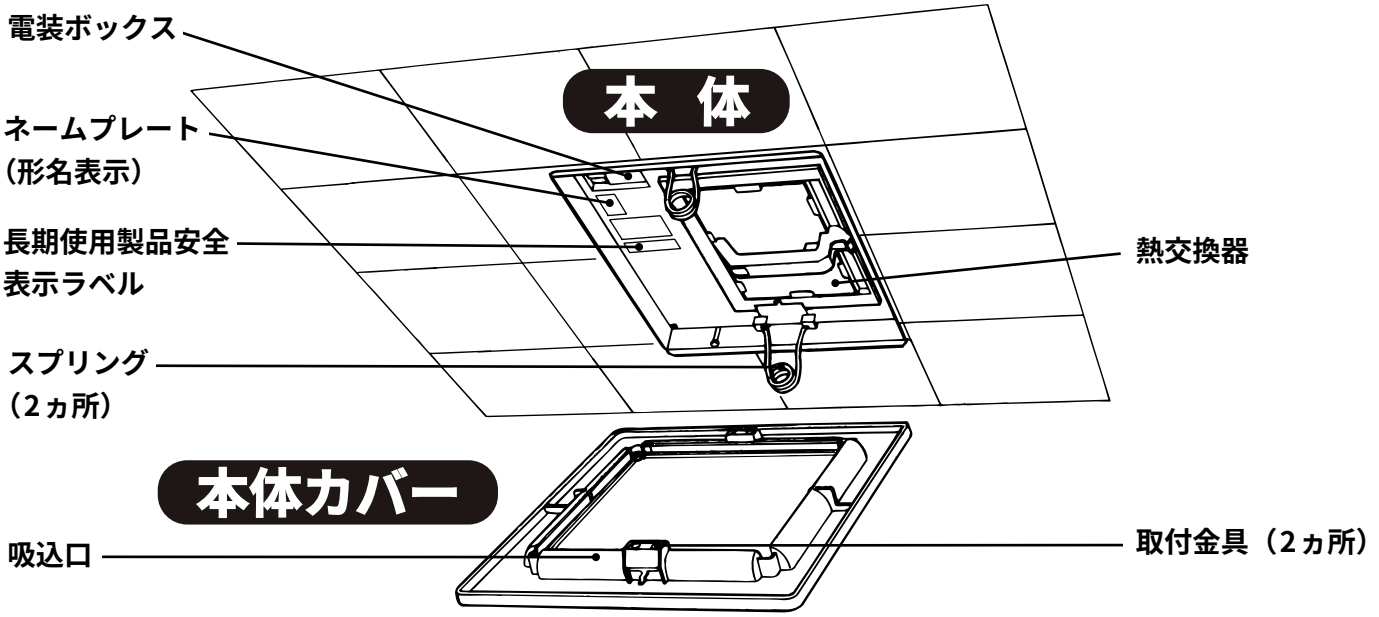

取付注意

パネル・熱交換器などの取り付けは確実に行う
落下により、けがをする原因になります。


取付禁止

機械および化学工場など、酸・アルカリ・有機溶剤・塗料などの有毒ガス、腐食性成分を含んだガスが発生する場所には取り付けない
ガスによる中毒・発火の原因になります。

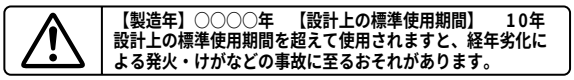
各部のなまえ



長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について

■本体への表示内容

経年劣化により危害の発生が高まるおそれがあることを注意喚起するために、電気用品安全法で義務付けられた右の表示を本体に行っています。



■設計上の標準使用期間とは

- 運転時間や温湿度など、以下の標準的な使用条件に基づく経年劣化に対して、製造した年から安全上支障なく使用することができる標準的な期間です。
- 設計上の標準使用期間は、無償保証期間とは異なります。また、偶発的な故障を保証するものでもありません。

■標準使用条件　JIS C 9921-2による

環境条件	電　圧	単相100V	機器の定格電圧による
	周 波 数	50／60Hz	
	温　度	20℃	JIS C9603参照
	湿　度	65%	
	設置条件	標準設置	機器の据付説明書による
負荷条件		定格負荷（換気量）	機器の取扱説明書による
想定時間	1年の使用時間	換気時間* ●台　所　2 410時間／年　●トイレ　2 614時間／年 ●居　室　2 193時間／年　●浴　室　1 671時間／年	
注)* 常時換気（24時間連続換気）のものは、8 760時間／年とする。			

■経年劣化とは

- 長期にわたる使用や放置に伴い生ずる劣化をいいます。
- 設置状況や環境、使用頻度が上記の条件と異なる場合、または、本来の使用目的以外でご使用された場合は、設計上の標準使用期間より短い期間で経年劣化による発火・けがなどの事故に至るおそれがあります。

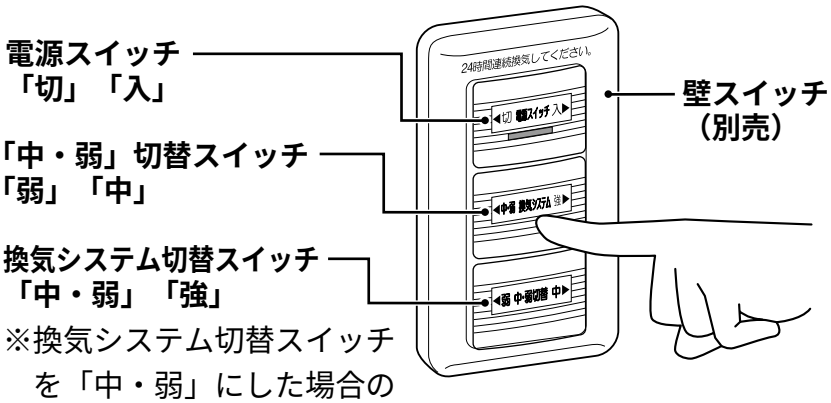
使いかた

この製品の運転は、壁スイッチで操作します。

建築基準法に定められた機械換気設備としてご使用の場合は運転を止めないでください。
長時間停止した場合、屋内環境が悪化し法律で定める基準をこえることがあります。

メモ

●使用初期に、熱交換器のにおいが出る場合がありますが、異常や有害ではありません。



※換気システム切替スイッチを「中・弱」にした場合のみ切替えできます。

お手入れのしかた

お手入れの前に

⚠警告

お手入れのときは運転を停止し、電源ブレーカを「切」にする

感電・けがの原因になります。



電源を切る

⚠注意

お手入れのときは、ゴム手袋を使う

けがをする原因になります。



手袋を使う

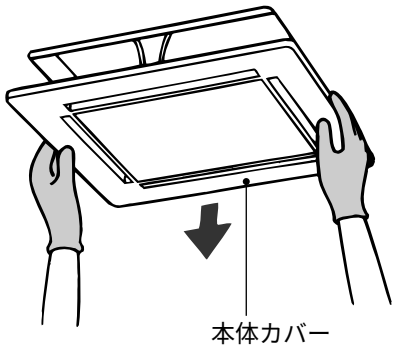
●台所用中性洗剤をご使用ください。

化学ぞうきんやスプレー式クリーナー、シンナー・アルコール・ベンジン・灯油・ガソリン・みがき粉・アルカリ洗剤は使わないでください。

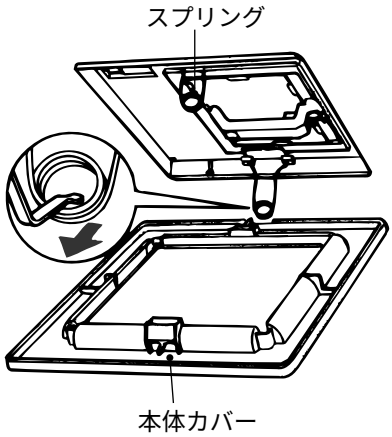


本体カバーのはずしかた

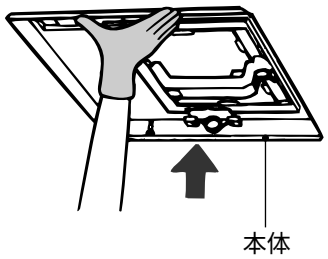
1 本体カバーが止まる位置までゆっくりと、真下へ引き下ろし、スプリングを固定します。



2 本体カバーを横にずらして、スプリングから本体カバーを外します。



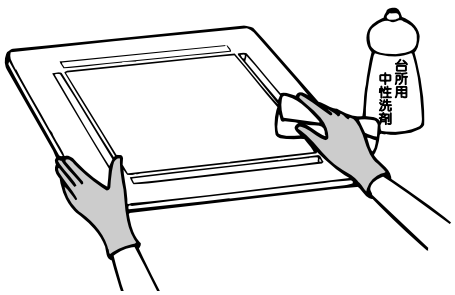
3 お手入れのとき、変形させないためスプリングは、本体内におし込んでください。



本体カバーのお手入れ

あまりよごれないうちに（3ヵ月に一度くらい）

●本体カバーは台所用中性洗剤溶液に浸し、よくしぼった布でふきとります。
洗剤が、残らないよう十分ふきとってください。
タワシなど固いものを使うと、きずがつきますのでおやめください。

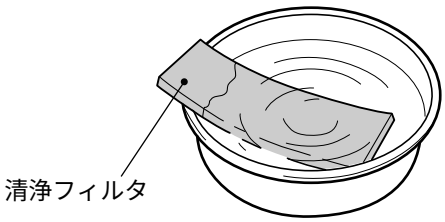


清浄フィルタのお手入れ

（6ヵ月に1回以上）

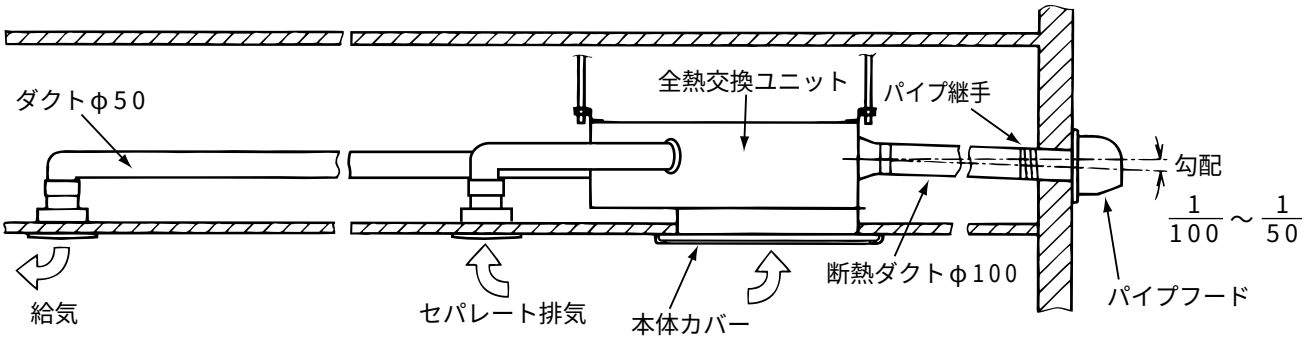
■清浄フィルタは、掃除機でホコリを吸い取ります。
よごれのひどいときは、水か、ぬるま湯に台所用中性洗剤を溶かして軽く押し洗いし、水などで洗剤を流してから、十分に自然乾燥させます。熱湯で洗ったり、もみ洗いや、力を加えて曲げることは絶対にやめてください。

●押し洗い回数5～6回を目安に、交換用外気洗浄フィルター（F-110X）を交換してください。



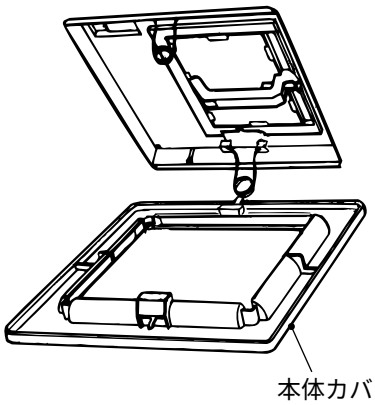
お手入れのしかた（つづき）

据付状態図

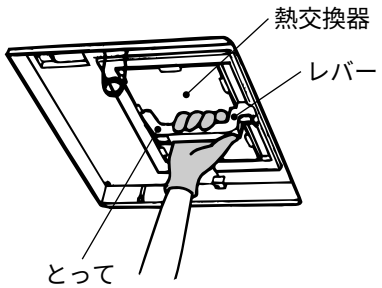


熱交換器・フィルタのはずしかた

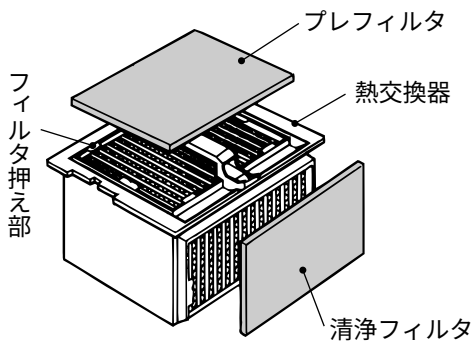
1 本体カバーをはずします。



2 熱交換器のとってをにぎり、人さし指で、とって内側のレバーを軽く押えながら真下へ引き出します。



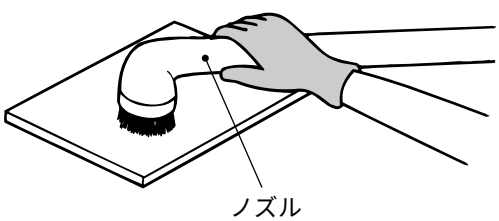
3 熱交換器から、プレフィルタと、清浄フィルタをはずします。
フィルタ押え部で、フィルタを軽くつまみ引きはがします。



プレフィルタのお手入れ

（6ヵ月に1回以上）

■掃除機により、プレフィルタの表面のごみ・ほこりを取ります。

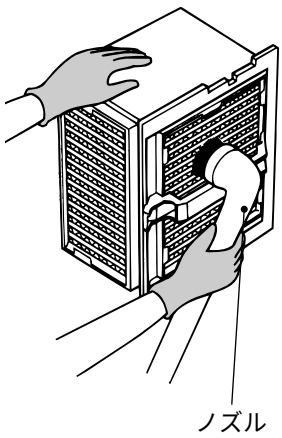


熱交換器のお手入れ

（1年に1回以上）

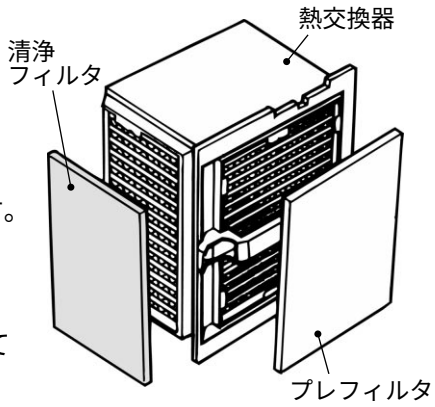
■掃除機により熱交換器の表面のごみ・ほこりを吸い取ります。

- 掃除機のノズルは、ハケ付きのものを使い、ハケを軽く当てて掃除してください。
  掃除機のノズルで熱交換器の目をつぶさないでください。
- 熱交換器は、紙ですので絶対に水洗いはしないでください。



お手入れ後の組立

熱交換器・フィルタの取り付けかた



● お手入れが、終わりましたら取り付けは、次の手順で行ってください。

1.プレフィルタと、清浄フィルタを熱交換器に取り付けます。
　清浄フィルタは、熱交換器に確実に取り付けてください。

2.プレフィルタと、清浄フィルタを取り付けた熱交換器を、本体に取り付けます。
　カチッと、音がするまでさし込みます。

3.本体カバーを、取り外した逆の順序で本体に取り付けます。

● 取り付けが終わりましたら運転して、異常な振動や騒音がないことを確認してください。

つぎのことは必ず守ってください

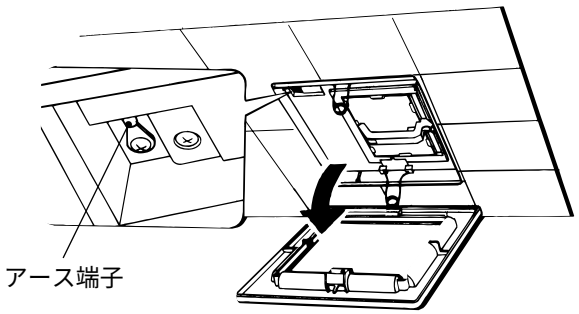
取り付け状態の確認

■熱交換器・本体カバーが確実に取り付けられているか確認してください。

取り付けが、不十分ですと振動したり異常音を発生します。

■アースを確実に

使う前に、アース線が確実に取り付けられているか確かめてください。



取り付け場所・取り付けについて不具合があったときは、お買い求めの販売店または工事店へご相談ください。

お願い

●熱交換器・フィルタに、ほこりなどが多量に付着したまま運転しますと、機能低下を起こして故障の原因になります。
●ドライヤー、ストーブの温風など高温での乾燥はやめてください。フィルタが変形することがあります。
●火に、あぶることは絶対に行わないでください。
●プレフィルタ・清浄フィルタを入れ忘れると、熱交換器にごみが詰まり、使えなくなることがあります。
●モーターなどの電気部品は、掃除のとき絶対に水に浸さないでください。

仕様

（50Hz・60Hz共用）

形　名	定格電圧(V)		周波数(Hz)	消費電力(W)	給気風量(m^3/h) 3口時	4口時	5口時	6口時	セパレート排気風量(m^3/h)	有効換気量率(%)	温度交換効率(%)	騒音(dB)	質量(kg)
VFE-140KFP2	100	強	50	52	125	132	140	—	17	90	57	33.5	12.0
			60	56	130	137	145	—	17		57	34	
		中	50	48	110	115	120	—	15		60	31	
			60	50	115	120	125	—	15		60	31.5	
		弱	50	38	84	87	90	—	12		64	27	
			60	38	86	89	92	—	12		64	27	
VFE-170KFP2	100	強	50	52	150	156	164	170	19	90	53	36.5	12.6
			60	60	150	156	164	170	19		53	36.5	
		中	50	39	125	130	135	140	17		57	33.5	
			60	44	125	130	135	140	17		57	33.5	
		弱	50	24	90	93	97	100	13		63	27	
			60	26	85	88	92	95	13		63	26.5	

● 風量値は、JIS C 9603 チャンバー方式による測定値です。騒音値は当社無響室における、本体カバー中央下方1.5mの測定値です。
セパレート排気は、給排気グリル（DV-05KMV）とダクト配管（6m曲げ2回）を組み合わせた時の値です。

この製品は、日本国内用に設計されているため海外では使用できません。また、アフターサービスもできません。
This product is designed for use only in Japan and cannot be used in any other country.
No servicing is available outside of Japan.

修理を依頼される前に

下記のような現象が生じた場合は、お客さま自身で点検してください。

現　　象	点　　検
スイッチを、入れても風が出ない。	●ブレーカーが、切れていませんか。 ●停電ではありませんか。
運転中に、異常音や振動がする。	●全熱交換ユニットが、確実に取り付いていますか。 ●本体カバーが、本体に確実に取り付いていますか。 ●熱交換器が、確実に取り付いていますか。

● 上記の点検をしても症状が変わらないときは、事故防止のため、すぐに電源を切って、お買い上げの販売店・工事店に点検・修理をご依頼してください。

※ご自分での修理は、危険ですから絶対にしないでください。

ご不明な点や修理に関するご相談は

修理･お取り扱い･お手入れについてご不明な点は **お買い上げの販売店へご相談ください。**

販売店にご相談ができない場合は、下記の窓口へ

東芝エアコン空調換気ご相談センター

フリーダイヤル **0120-1048-00**

受付時間：365日　9:00～20:00

携帯電話・PHSなど　03-5326-5038（通話料：有料）

FAX　045-461-3493（通信料：有料）

・お客様からご提供いただいた個人情報は、修理やご相談への回答、カタログ発送などの情報提供に利用いたします。

・利用目的の範囲内で、当該製品に関連する東芝グループ会社や協力会社に、お客様の個人情報を提供する場合があります。

修理を依頼されるときは

出張修理

●ご使用中に異常が生じたときは、お使いになるのをやめ、電源を切ってお買い上げの販売店・工事店にご連絡ください。

ご連絡していただきたい内容

品　　名	全熱交換ユニット
形　　名	VFE-140KFP$_2$, VFE-170KFP$_2$
お買上げ日	年　月　日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご 住 所	付近の目印等も合わせてお知らせください。
お 名 前	
電話番号	
訪問希望日	
便利メモ	お買上げ店名 ☎（　　）　　－

修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技 術 料	故障した商品を正常に修復するための料金です。
部 品 代	修理に使用した部品代金です。
出 張 料	商品のある場所へ、技術者を派遣する料金です。

補修用性能部品の保有期間

●換気扇の補修用性能部品の保有期間は、製造打切後6年です。
補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

愛情点検

●長年ご使用の換気扇の点検を！

ご使用の際このようなことはありませんか。

- ●スイッチを入れても羽根が回転しない。（風が出ない。）
- ●運転中に異常音や振動がする。
- ●回転が遅い、または不規則。
- ●こげ臭い、においがする。

ご使用中止

故障や、事故防止のため、電源を切って必ず販売店・工事店にご連絡ください。
点検、修理に要する費用は販売店・工事店にご相談ください。

東芝キヤリア株式会社

〒416-8521　静岡県富士市蓼原336番地

本商品は、ご愛用終了時に、再資源化の一助として、主なプラスチック部材に材料名を表示しています。

ET99910301-④